

S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数及び S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシエント指数（除く日本）：気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）のレポートニング統合に関する発表

アムステルダム、2022年3月29日：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス（以下、「S&P DJI」という）は、指数構成銘柄の報告情報が、金融安定理事会（FSB）の「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言に沿った内容となっているかどうかを考慮するため、S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数、S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシエント指数（除く日本）、及びその他の同様な指数のメソドロジーに対して新たな指数ルールを適用する予定です。

S&P DJI は現在、TCFD の提言に沿ったレポートニングを指数メソドロジーに組み込む上での選択肢をレビューしており、追って公の場で相談を行う予定です。その間、S&P DJI は、S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数及び S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシエント指数（除く日本）などの ESG 関連指数や気候関連指数のメソドロジーに、TCFD の提言に沿ったレポートニングを組み込むことに関して、市場参加者からのフィードバックを歓迎します。

メソドロジーの変更が採用された場合、次回の年間リバランスと同時に有効となります。S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数及び S&P グローバル大中型株カーボン・エフィシエント指数（除く日本）の場合、この変更は 2023 年 3 月 20 日（月）の市場開始前に有効となります。

この発表に関する詳細について、またはフィードバックをいただく場合には、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス (SPDJ_Index_Governance@spglobal.com) にお問い合わせください。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに関する詳細については、www.spglobal.com/spdji をご覧ください。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスについて

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数ベースのコンセプトやデータ、リサーチを提供する世界最大のグローバル・リソース企業であり、**S&P 500®**及び**ダウ・ジョーンズ工業株平均®**といった金融市場の代表的指標を算出しています。当社の指数に基づく金融商品に投資される資産額は、世界の指数プロバイダーの中で最大規模となっています。チャールズ・ダウが**1884**年に初めて指数を発明して以降、**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なアセット・クラスをカバーする指数を開発しており、これにより投資家が市場を測定し、売買する方法を定義することが可能となっています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、**S&P グローバル (NYSE: SPGI)** のグループ会社であり、個人や企業、政府が確信を持って意思決定を行う上で不可欠な情報を提供しています。詳しい情報については、www.spglobal.com/spdjiをご覧ください。

詳しい情報については、以下にお問い合わせください：

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

index_services@spglobal.com